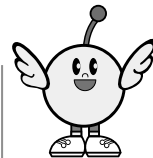


ひと、こと、
実現する
ふくしま



ふくしまの 今が分かる新聞

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取組や福島復興に向けた動きなど、「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

令和7年7月17日(木) 発行



PICKUP VIEW

岩沢海水浴場

（檜葉町）

夏には海水浴を楽しみに、
たくさんの家族連れが訪れます。
遠浅で波も良いことから
サーフィンスポットとしても
人気です。

特集

避難解除区域等12市町村の 子育て・教育文化関連施設を 紹介します！

避難解除区域等12市町村の 子育て・教育文化関連施設を紹介します

今回は、各市町村の子育て・教育文化関連施設を紹介します。

各施設の詳細については、各施設のホームページをご覧くださいか、お問い合わせ先までご連絡ください。

田村市 ① 田村市図書館都路分館



地域の皆さんと協力しながら様々な活動をしています。市民の利便性向上や子ども読書活動推進のため、都路行政局庁舎の2階から1階に移転しました。児童書が豊富な明るい図書館です。

所 田村市都路町古道字本町33-4
☎0247-75-2063 (都路公民館)

広野町 ④ 広野町文化交流施設「ひろの未来館」



町の歴史や文化に触れられる文化交流施設です。化石など文化財の展示やキッズコーナー、子育て世代向けのイベントもあり、子どもから大人まで楽しめる学びと交流の場となっています。

所 広野町下浅見川字築地73-1
☎0240-27-2277

南相馬市 ② 浦尻貝塚 縄文の丘公園



約5千年前の縄文時代の暮らしを感じる史跡公園です。公園内には、貝塚を立体的に展示する貝塚観察館のほか、見て、触れて楽しめる展示があります。縄文の暮らしを五感で感じてください。

所 南相馬市小高区浦尻字南台4-1
☎0244-24-5284 (南相馬市教育委員会文化財課)

檜葉町 ⑤ 天神岬スポーツ公園



多くの遊具がある広大な芝生広場、サイクリングロード、ドッグランが整備され、キャンプやBBQも楽しめます。併設された「しおかぜ荘」にある太平洋が一望できる露天風呂もオススメです。

所 檜葉町大字北田字上ノ原27-29
☎0240-25-3113 (檜葉町サイクリングターミナル)

川俣町 ③ 峠の森自然公園キャンプ場



キャンプやバーベキューなど、色々な楽しみ方で自然に親しめる施設です。昨年トイレや炊事場をリニューアルしました。開放感抜群の芝生広場があるほか、町を一望できる絶景が楽しめます。

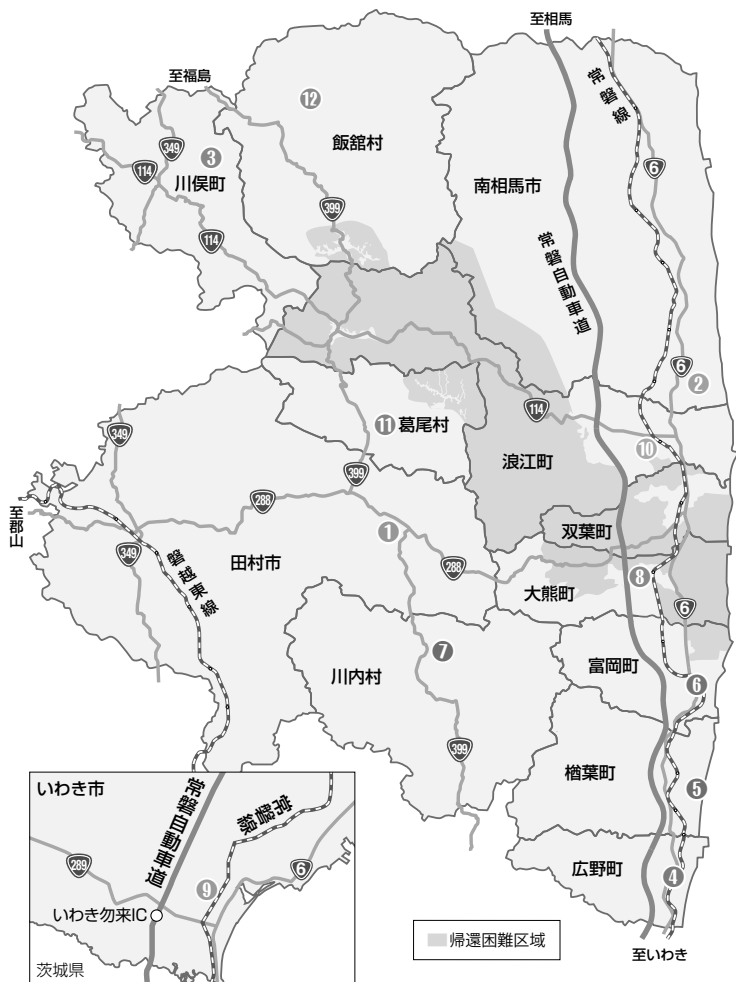
所 川俣町飯坂字上切伏
☎024-566-2111 (川俣町農林振興課)

富岡町 ⑥ 富岡町地域交流館「富岡わんぱくパーク」



子育て支援の拠点として、子どもの体力向上や運動不足の解消、子育て世代の交流を目的に運営しています。施設の案内人「プレイリーダー」が、身体を動かす楽しい空間を演出してくれます。

所 富岡町中央3-11
☎0240-25-8590



双葉町

⑨ 双葉町立ふたば幼稚園、双葉南・北小学校、双葉中学校



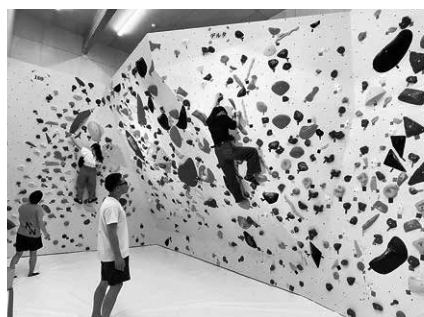
所 いわき市錦町御宝殿56

☎0246-84-5210 (双葉町教育総務課)

いわき市の仮設校舎で元気に教育活動を行っています。令和10年4月、双葉町に新しいこども園や学校を設置することを目指しています。幼少期から外国語に慣れ親しむ教育を展開する計画です。

浪江町

⑩ ふれあいげんきパーク



所 浪江町大字権現堂字矢沢町6-1

☎0240-23-5233

乳幼児から小学生まで思いきり体を動かして遊べます。また、本格的なボルダリングスペースを整備しており、小学生から大人まで楽しめます。

川内村

⑦ いわなの郷



所 川内村大字上川内字炭焼場516

☎0240-38-3511

川内の自然を、時間を忘れて満喫できる施設。養魚場でいwana釣りが楽しめるほか、川内村に伝わる昔ながらの味噌づくりやそば打ち体験ができます。

葛尾村

⑪ むらの図書室(葛尾村村民会館内)



所 葛尾村大字落合字落合16

☎0240-29-2008 (葛尾村公民館)

約5500冊(うち約2900冊が児童書・絵本)を所蔵する村唯一の図書室。季節ごとに変わる壁面装飾で“気軽に利用できる図書室”づくりに力を入れています。ブックスタート事業も再開しました。

大熊町

⑧ クマSUNテラス



所 大熊町下野上大野116-6

☎0240-41-9948

大野駅から徒歩1分、大熊ICから車で約4分のクマSUNテラスは、飲食店、コンビニ、物販店、広場のほか、ソフトブロックやボールプールなどで遊べるキッズスペースも整備されています。

飯館村

⑫ ふかや風の子広場



所 飯館村深谷字深谷前11-1

☎0244-26-7340

道の駅までい館に隣接する天然芝の公園には、サイロを模した滑り台やツリーハウスなど、遊び心一杯の遊具のほか、木の温かみが魅力的な屋内運動施設「ひみつ基地どきどき」があります。

文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)について

原発事故による損害賠償の請求については、東京電力との直接交渉や裁判以外に、ADRセンターによる和解仲介を利用できます。

原発事故による損害賠償について

「納得できていない」「請求漏れがあるかも」と思いながら
平日昼間には時間を取れなかった皆さん

通常窓口に加えて専門家と直接話せる
平日夜間・土曜窓口を開設します

ご利用は無料で、その場で申立ても可能です

詳しい
予約方法



対面(福島事務所へ来所)

予約優先制



事前予約無しで当日来所の場合の受付時間

▶水曜開設時 19時30分まで

▶土曜開設時 16時30分まで

予約の状況により、お待ちいただく場合や受付ができない場合があります

遠隔対応 ～県外からも利用できます～



電話

完全
予約制
(先着順)



オンライン(Zoom会議)

2026年
3月までの

偶数月 第1土曜日
(13時～17時)

8月

2日(土)に開設

7/25まで予約受付中
(土日・休日を除きます)

奇数月 第1水曜日
(16時～20時)

9月

3日(水)に開設

予約受付期間8/1～8/25
(土日・休日を除きます)

ご予約は電話で ☎024-941-0164 予約電話受付 平日10時～16時



ADRセンター福島事務所

JR郡山駅東口 徒歩5分

通常の開所日時 平日9時～17時

申立書の記載の仕方の一般的な説明や受領を行っています。こちらは予約不要です。

福島県郡山市方八町1-2-10 郡中東口ビル2階
※入居者用ではなくテナント用エレベーターをご利用ください。

令和7年度 第3回福島県復興公営住宅の入居者募集について

復興公営住宅の入居者の募集を下記の日程で行います。

※募集期間は変更となる場合がありますので、最新情報は入居支援センター HP でご確認ください。

募集期間 令和7年8月1日(金)～8月12日(火)

入居予定 令和7年10月以降

対象者

- ▶避難指示区域等から避難されている方
- ▶平成23年3月11日時点で、避難指示が解除された区域に居住していた方
- ▶東日本大震災の地震・津波被災者

- ▶平成23年3月11日時点で中通り、浜通り(避難指示が継続している区域を除く)に居住していた方
 - ▶比較的收入が低く、県営住宅の入居資格を備えている方
- ※住宅に困窮していることが要件となります。



問い合わせ 福島県復興公営住宅入居支援センター ☎024-522-3320

詳しくはこちら



県外に避難している高校生の県内企業への就職支援について

福島県出身者で、現在県外に避難している高校生のうち、高校卒業を機に福島県内の企業へ就職を希望する生徒に対して、県内の各高校に配置した進路アドバイザーが、就職を希望する地区の企業求人情報を提供します。

求人情報の提供を希望する生徒は、現在通っている高校の進路指導担当(またはクラス担任)の先生を通して、相談窓口にお問い合わせください。その際、「現在通学している学校名」

「学校の連絡先」「就職を希望する地区」「希望する業種や職種」「帰還予定時期」などをご連絡ください。各地区の進路アドバイザーが、希望に即した企業の求人情報を送付します。

問い合わせ

〔事業に関する問い合わせ〕福島県教育庁高校教育課 ☎024-521-7773

〔相談窓口〕(株)福島人材派遣センター 進路アドバイザー係 ☎024-521-5111

「ただいま、ふくしま。2025 in 東京」参加者募集のお知らせ

首都圏在住の福島県出身の若者(20・30代)を対象とした交流会を開催します。参加者募集中のため、ご家族などにお声がけください。

日時 10月4日(土) 14時～17時

場所 東京ミッドタウン日比谷6階 BASE Q

問い合わせ 運営事務局 ☎024-572-6404 (土日祝日除く10時～17時)

MAIL info@fukushima-uturn-event.com

詳しくはこちら



生活再建支援拠点を紹介します

県外へ避難されている方の相談対応や本県の支援策に関する情報提供、交流会の開催等を行う拠点を全国26か所に設置しています。今回は、秋田・愛知の2県に設置している拠点を紹介します。

26か所すべての拠点の連絡先等情報は、コチラから

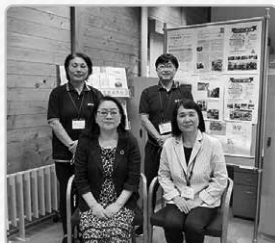
[ふくしま連携復興センターHP](#)



秋田県

特定非営利活動法人
あきたパートナーシップ

〒010-1403
秋田県秋田市上北手荒巻字堺切24-2
TEL 018-829-2140
メール info2340@akita-partnership.jp
相談日時 月～金 10時～18時
※担当エリア：青森県・岩手県・秋田県



気軽に相談やお話しができる場所としてご利用ください。3県で交流会や相談会を開催しています。また、個別の相談もお受けしますのでご連絡ください。情報紙「北東北拠点だより」を発行しています。

愛知県

愛知県
被災者支援センター

〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉1-13-34 名建協2階
TEL 052-971-2030
メール center@aichi-shien.net
相談日時 月～金(祝日、年末年始を除く) 10時～17時



お一人おひとりのお話をお伺いし、必要な情報提供を行っているほか、専門家にもつないでおります。ご来所も大歓迎です。また、支援情報の送付や、交流会等の開催、戸別訪問なども行っています。

被災者生活再建支援金申請期間について

富岡町、大熊町、双葉町、浪江町の4町について、東日本大震災に係る被災者生活再建支援金(基礎支援金・加算支援金)の申請を、令和8年4月10日まで受け付けています。

支援金の申請については、福島県や被災当時にお住まいの町のホームページをご覧ください。右記までお問い合わせください。

問い合わせ

富岡町役場生活環境課 ☎0240-22-2111
大熊町役場生活支援課 ☎0240-23-7444
双葉町役場住民生活課(いわき支所) ☎0246-84-5200
浪江町役場住宅水道課 ☎0240-34-0232

「県民健康調査」小児健康診査を実施しています

対象の方へは受診案内の封筒をお送りしておりますので、ご確認ください。健診費用は無料です。

対象者

平成22年4月2日から令和7年4月1日までに生まれた方のうち、対象地域*に
①平成23年3月11日から平成24年4月1日までに住民登録をしていた方
もしくは ②令和7年4月1日現在、住民登録していた方

※対象地域：平成23年時に避難区域等に指定された市町村等(広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部[特定避難勧奨地点の属する区域])

実施期間

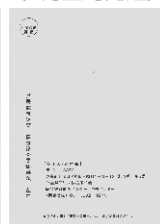
県内 令和7年7月～12月31日 県外 令和7年8月～令和8年1月15日

問い合わせ 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター ☎024-549-5130(平日9時～17時)

県内
(6月下旬発送)



県外
(7月上旬発送)



小名浜道路が開通します

ふくしま復興再生道路である小名浜道路が8月7日(木)15時に開通します。小名浜道路開通と同時にいわき小名浜ICが開通し、常磐自動車道と小名浜道路が接続します。

問い合わせ

(小名浜道路について) 福島県いわき建設事務所 ☎0246-24-6036
(常磐自動車道について) NEXCO東日本東北支社広報課 ☎022-398-8791

[詳しくはこちら](#)



全員参加!5年に一度の「国勢調査」がはじまります!

9月下旬に調査員が各世帯を訪問し、調査票を配布します。24時間いつでも回答できるインターネット回答が簡単便利です。詳細は国勢調査2025キャンペーンサイトをご覧ください。

[詳しくはこちら](#)



全国避難者情報システム等への避難情報の届出のお願い

避難情報に変更(転居や帰還など)がありましたら、避難先の市区町村へ「全国避難者情報システム」への届出をお願いします。届け出た所在地宛てに、福島県や避難元市町村からのお知らせなどを送付できるようになります。

併せて、13指定市町村(*)から避難されている方は、原発避難者特例法に基づく届出も避難元市町村宛てにご連絡いただくようお願いします。避難先においても一定の行政サービスを受けることができますようになります。

13指定
市町村(*)

いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯館村

問い合わせ 福島県避難者支援課 ☎024-523-4250

全国避難者情報システムへの届出

①避難先の変更がある場合
(転居など)

②避難を終了する場合
(帰還・定住など)

①の場合

現在お住まいの避難先市区町村及び転居後の避難先市区町村の双方へ届出

②の場合

現在お住まいの避難先市区町村へ届出

原発避難者特例法に基づく届出

13指定市町村から避難されている方で、避難情報に変更がある場合、避難元市町村へ届出

浪江町



相馬双葉漁業協同組合 請戸地区

たかの いちろう
高野 一郎さん

ふくしまVOICE

第44回

ふるさとに帰還した人、まちに移住してきた人の「いま」をご紹介します。

インタビューの様子はYouTube動画でも配信しています。右の二次元コードからご覧ください。



請戸漁港から浜の活気と「請戸もの」のおいしさを届けたい！

浪江町で生まれ育った高野一郎さんは、海を愛するベテラン漁師。ヒラメやアイナメ、シラウオ、シラス、ホッキ貝など多種多様な魚介が水揚げされる請戸漁港を拠点に、約60年にわたって漁を続けてきました。福島県沖は、寒流と暖流が交わる豊かな漁場で、水揚げされた魚介は「常磐もの」と呼ばれ、首都圏の市場においても高い評価を受けています。「常磐ものの中でも、請戸漁港で水揚げされた『請戸もの』は脂がのっていて特においしい！」と、高野さんは笑顔を見せます。

震災時に津波で大きな被害を受け、高野さんは県内外で避難生活を送りました。その後、高野さんたち漁業者は一丸となって港のがれき撤去を進め、水産業施設の再建に貢献。2020年には、待ち望んだ請戸漁港での競りが9年ぶりに再開されました。「毎月の操業回数やエリアにはまだ制限はありますが、漁に出られるようになって本当に良かった」と海を見つめる高野さん。「港に活気が戻ったことで観光客や帰還者が増えるきっかけになればうれしい。請戸ものをぜひ味わって」と、請戸愛を語ってくれました。



競りでは威勢のいい声が飛び交います



請戸漁港で水揚げされたシラウオやホッキ貝

読者アンケート

お答えいただいた方に抽選で、福島県の素敵な特産品をプレゼント！

郵便はがきもしくは、福島県避難者支援課へのメールに①～③の必要事項をご記入の上、お送りください。

アンケート A・B両方への回答をお願いします。

A 今回の「ふくしまの今が分かる新聞」をどこでご覧になりましたか。

B 記事や「ふくしまVOICE」の動画を見た感想を教えてください。(自由記述)

応募締切 2025年8月29日(金)

※当日消印有効 ※個人情報は賞品の発送にのみ使用します。
※アンケートの回答は紙面で紹介させていただく場合があります。

〈郵便はがきでの応募の場合〉

960-8670

福島県庁
避難者支援課
「ふくしまの今
が分かる新聞」係

①アンケート回答

②記事の感想、今後
取り上げてほしい
情報、紙面や県
政へのご意見

③住所・氏名・
年齢・電話番号

〈メールでの応募の場合〉

二次元コードを読み込むか
下記のアドレスを打ち込み、
①～③の必要事項をご記入
の上送信してください。

hinanshashien@pref.
fukushima.lg.jp



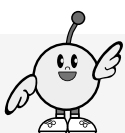
抽選で
10
名様



ピリ辛かけるあおさ・
かけるあおさ〈各1個〉

マルリフーズ(相馬市)

松川浦産のあおさに、カリッと揚げたニンニクや玉ネギを加えオイルで漬け込みました。あおさの香りとザクザクの食感が食欲を誘う万能調味料です。



ふくしまが
もっと分かる

バックナンバーもチェック！

福島 今が分かる新聞

検索

